

科目名 (科目番号)		公衆衛生学 (時間割参照)	教員名 横山 博子	学科等	理学	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	第一・B322	
授業概要		公衆衛生学では、健康を集団的・予防的にとらえる。講義では、ライフステージごとに健康に関する現状と課題をおさえ、その課題に対する政策とそれを実践する仕組みを学ぶ。						
目的・目標		目的: 公衆衛生学的視点で、健康に関する諸問題について批判的に考察することができる力を養う。 目標: ①公衆衛生とは何かを理解する。 ②健康に関する様々な課題を理解する。 ③適切なデータを収集することができるようになる。 ④政策のしくみを理解する。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	1章 健康の科学としての公衆衛生学		到達目標: 公衆衛生とは何か、予防概念、健康観を理解する。 学習内容: 健康観の変遷、公衆衛生学と疫学研究を学習する。				
	2	3章 妊娠・出産と胎児の保健 4章 新生児・乳児期の保健		到達目標: 母子保健の具体的内容を理解する。 学習内容: 母子保健の現状と課題を学習する。				
	3	5章 青少年の保健 6章 成人期の保健		到達目標: 保健教育と保健管理の違い、健康づくり政策の概要を説明できる。 学習内容: 学校保健、生活習慣予防を学ぶ。				
	4	7章 老年期の保健と死の問題 8章 心の健康と心身障害		到達目標: 高齢者医療・保健・介護の全体像とこころの健康対策を説明できる。 学習内容: 高齢者保健と精神保健の概要を学習する。				
	5	9章 環境の衛生 10章 環境汚染と公害		到達目標: 地球温暖化、大気汚染、アスベストなど説明できる。 学習内容: 環境が健康に及ぼす影響と、国際的・国内的対応の概要を学ぶ。				
	6	11章 感染症		到達目標: 感染症対策(届出、予防を含む)を説明することができる。 学習内容: 感染症成立の三大要因を知り、感染症法を主軸として感染症予防を学習する。				
	7	13章 職業生活と健康		到達目標: 労働災害の現状と産業保健の問題と対策を説明することができる。 学習内容: 職業生活と健康に関する現状を知り、労働者の安全と衛生を守る方策を学ぶ。				
	8	14章 保健・医療の行政		到達目標: 保健・医療に関する行政、専門職、理念を理解する。 学習内容: 保健・医療の行政の仕組みを学習する。				
成績評価の方法・基準		授業時の小テスト(30%) + 期末試験(70%) (オンライン・対面のいずれも同様)						
教科書		学生のための現代公衆衛生 改訂8版		野中 浩一編著		南山堂		
参考図書		国民衛生の動向		厚生労働統計協会		厚生労働統計協会		
教員からのメッセージ		授業内での小テストの結果は、コメントをつけてクラスルームに掲示します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。 配布資料は必ず適切に保管してください。						